



同窓会会長

北原 幸子

S30年卒業(旧姓 草野)

第31号

《発行》
函館大妻高等学校
同窓会
「いとぐるま」編集部

〒040 0002
函館市柳町14番23号
電話 0138 52 1890
FAX 0138 52 1892
印刷 (株)第一印刷

昨年は暖冬で暮からお正月にかけ函館地方は雪が少なく、私達にとっては雪かきから解放され喜んだのも束の間、爆弾低気圧の影響で台風、大雨、ドカ雪と、いつ来るか分からぬ自然界の猛威を突き付けられたような気の抜けない年明けとなりました。
会員の皆様には如何お過ごしでしょうか。日頃は会の運営に温かいご理解と限りないご協力を賜り感謝いたしますとともに、お礼申し上げます。
今春も一四三名の新会員をお迎えし、役員も出席して歓迎の入会式を無事終え、同窓の輪が又一つ大きく広がりました。
卒業してから五十有余年になるでしょうか。当時母校の前庭は広いグラウンドで、運動会やソフトボ

ールの練習をした事を懐かしく思い出します。現在その場所は、四季折々の樹木が茂り、中庭に作られた池にはとても可愛い鴨の親子がまるで絵の中から飛び出たように泳ぎ廻り、時期が来ると巣立って行きます。
また、「桜」や「ツツジ」の満開の下で「野立て」を楽しむような光景を、当時は想像出来たでしょうか。しかしその場所に立つと、不思議と懐かしく当時が蘇り、時の流れを感じます。
北海道も立春を過ぎ、横津連峰の雪も徐々に消え、「福寿草」が咲き、「ふきのとう」が顔を出したと云うニュースに、驚いたり喜んだり地球上の明暗を感じている昨今ですが、母校は内外共に整備され益々充実し確かな発展を確信し

ています。他人の心の痛みがわかる女性らしいやさしさとその中にも強い精神力が育かれ、毎年大勢の後輩が社会に巣立って参ります。その陰には校長先生、諸先生方の並々ならぬご心労も計り知れないものがある事と存じます。私達同窓生も母校愛で、出来る限りの協力を維持して行かなければと考えています。

今年から七月の大妻祭にバザーを開催する事に決まりました。行事は目新しいものではありませんが、九十周年に向けての準備で、一年おきの開催ですので品物をご提供下さるよう呼びかけております。是非ご協力下さい。

手づくりり会も毎年順調に作業が進み、先輩・後輩が和気あいあいと協力し合い、新しいアイデアを持ち寄り、楽しい作品が出来上がっている様子です。総会時販売予定との事、ご期待下さい。これも皆様のご協力が大きな「力」となっている事を強く感じます。同窓の絆を一層強くして本部、支部共に手を取り合いながら、平成二十五年の九十周年を迎えましょう。
母校の益々のご隆盛と本年も皆様にとって希望の持てる幸せな年になります事を心から願ひ挨拶いたします。



最近おもう事

同窓会名譽會長 外山茂樹

同窓生の皆様には、常日ご母校に対して様々な面からの御支援・御協力をいただき、誠にありがとうございます。お陰様で学校も少子化にもかかわらず、順調に推移しております。

すなわち、平成十八年度は、一九三名の入学者を迎えましたが、これは管内三十校の高校のなかで最も多くの女子入学者でありました。ちなみに、他の私立高校の女子入学者は、遺愛高校一八八名、白百合高校一三七名、清尚学院高校(旧昭和女子校)九七名、函大柏稜高校(旧女子商業高校)九八名、大谷高校十一名となっております。公立高校も函館商業高校の一六〇名が最高となっております。

このような状況は、恐らく良妻賢母の育成のもと、思いやりをもつて生徒一人ひとりに、きめの細かい教育指導を行うという本校の伝統的な校風が地域社会から高く評価された結果であり、その推進にあたった諸先生方はもとより同窓生をはじめとした学校に縁のあ

る全ての方々の賜と思っております。

さて、昨年の十月に北海道新聞より学校についての取材をうけました。掲載は十月二十六日付の夕刊「みなみ風」の「まちは唄う」シリーズでありました。

取材は二日間、合計三時間でありましたが、創立者の思い出、学校の歴史、現在の教育内容や教育方針など多岐に渡っております。記事をご覧になった方はお分りのように、掲載されたのは創立者である祖母と私との交流に関わるものばかりでした。

取材の過程で、祖母との忘れかけていた思い出が次々に思い浮かべれると共に、やはり祖母の教育への熱い想いを永遠に残していただけるようにする事が、私に与えられた使命であるということが改めて分かったわけでありました。

私学は永遠なりの現実をめざすために、同窓生をはじめとした皆様の御協力を得ながら、厳しい時代を乗り越えていきたいものです。



この頃想うこと

日高支部 吉田康子
S43年卒業(旧姓 中江)

テレビ、新聞、その他マスコミ等で子供の「いじめ」が問題視され、国会に於いても種々論議されている現状ですが、いじめをなくする方策があるのでしょうか？全く疑問に思います。地球の自然界ではこの世に「生」を受けたときから(動物でも植物でも同じ)生きるための闘いだと思えます。先人が教えています。

「獅子は仔を千尋の谷へ落とす」この厳しさを・・・強い子供を育てるには、この厳しさを知らせるべきだと思えます。大妻の校訓「恥を知れ」

この校訓の中には「礼儀正しく、義理人情に厚く、学識豊かに、博愛衆に及ぼす」この精神が含まれていると思えます。いじめなどに負けない、自殺など絶対にならない、勇気ある子供を育てむ術として、この校訓に勝るものはないと思います。

この薫陶を受けた私たち、日頃から恥ずかしくない社会人でありたいと過ごして参りました。

ふと気がつけば既に孫の顔を見る年代になっていきます。厳しくて怖い、そして深く優しさを感じられるオバアちゃんになりたいと思っ今日この頃です。

支部總會のご案内

- 札幌支部 日時 平成19年5月12日(土)
午前11時~写真撮影・総会 12時~懇親会
場所 札幌サンプラザホテル
連絡先 藤本美智子(S28年卒業 旧姓 奥野)
TEL 011 377 3105
- 東京支部 日時 平成19年6月9日(土)
場所 京王プラザホテル
正午 12時~
連絡先 杉本幸子(S33年卒業)
TEL 03 3875 0902



同期会に参加して

瀬棚支部 大口 弘子
S 39年卒業(旧姓 石川)

平成十八年九月五日、湯の川グランドホテルで三十九年度卒業の同期会が開かれました。
私は、六年ぶりの同期会でした。みなさん方に会えるのを楽しみに参加しました。出席者の人数は前回より多く三人でした。四十二年ぶりであった人も、遠方から訪れた人も、みなさん本当に懐かしい人ばかりでした。
その夜、高校生時代に戻り、同期の思い出や卒業後のそれぞれの土地での暮らしのこと、そして現在の生活、孫の守りや病気の親の介護をしていることなど、時間の経つのも忘れるほど語り合いました。又、カラオケやゲームなどで大いに盛り上がりました。最後に大妻高校の校歌を学生に戻った気持ちで、みんなで輪になって声高らかに歌いました。
本当に懐かしく楽しいひとときを過ごすことができました。また会える時を楽しみにしています。



同窓会本部掲示板

●平成19年度バザーのお知らせ●
・手づくり品販売...平成19年7月7日(土)
同窓会総会当日：花びしホテルにて
・食品販売...平成19年7月15日(日)
大妻祭当日：大妻高校にて
・物品販売... 同 上
今年物品販売によるバザーを開催しますので、皆様のご協力をよろしく願っています。

●平成18年度バザー売上金●
手づくり品販売収益金 192,808円
(同窓会総会にて)
食品販売収益金 95,868円
(大妻祭にて)
合計 288,676円
ご協力ありがとうございました。



私の生き甲斐

札幌支部 盛田 良子
S 28年卒業

札幌に移って参りましたのが昭和五十年の春です。街で偶然同期の方にお会いし、その後二三人で会う機会を作り、ある時、同窓会をやっている事を耳にしました。それから何日か後、同期の藤本さんから同窓会のお誘いのお電話を頂き、私は是非出席したいとお返事をしました。翌年早速出席させて頂きました。会は本当に楽しく感謝しております。来年も出席しようと心に決めていましたら、後日、岡田支部長より幹事依頼のお電話を頂き、私は迷いもなく承諾致しました。それは、役員の皆様力がを入れて活動されている様子が、私も微力ながら何かお役に立ちたいとの思いからでした。

昨今、一人でも多くの方に着物を着て頂く事を念願し、好きな仕事に精進して参りたいと思っております。最後に歴史ある本校の本部・支部同窓会の皆様のご健勝をお祈り申し上げます。

懇親会では諸先輩と高砂町の校舎で学んだ事、又、川原町の緑多い環境のよい校舎で学んだ事等が走馬灯の様に浮んできました。
校訓 恥を知れ又、和の技法知識等々...私はその教えを実践しながら日本の文化、日本の民族衣装である着物の仕事に携わって十年余りになります。着物ばなれの



函館大妻高等学校同窓会札幌支部 平成18年5月13日 於 札幌サンプラザ



エレベーターの向こう側

東京支部 佐藤 優子

S45年卒業(旧姓 佐藤)

『貴女の生活』少し休んでみませんか。
イエイエ、何かを休むのじやなく夫・子供・夫の両親・自分の両親・仕事先の上司の顔などなど：ふだん、頭の中を駆け巡っているいろいろな事を、少しだけ横においてみるんです。ちよっとだけわがままに、自分の事だけ考えてみるんです。

そのついでに自分の青春時代も：いかがですか？ 浮かびましたか？ 青春時代。『同窓会』って、その延長に控えてると思いませんか。『同窓会』に、探しにいらつしゃいませんか？ ふだんとは違う、はじめていた青春時代の笑顔を。エレベーターを降りても見知った顔が居ないかも知れませんが、でも違う時代に同じ校舎で学んだ仲間『同窓生』がいます。
ふだんの生活を、エレベーターで力チリと切り替えてみませんか？
『参加は、初めて』そんな方もなぜか自然な笑顔で、話し始めてしまいます。それが『同窓会』：

今年の東京支部の『同窓会』は六月九日(土)二時から開催。新宿京王プラザホテル四四階です。エレベーターの向こう側で、最初の笑顔でお待ちします。



函館大妻高等学校同窓会 東京支部21回総会 平成18年6月10日 於 京王プラザホテル



バスケットボール部 創部三十五周年記念祝賀会

本村 利香 S63年卒業(旧姓 白井)

この度、バスケットボール部創部三十五周年記念祝賀会を、七月二十二日に開催する事が出来ました。創部以来、平成十八年現在でバスケットボール部卒業生は二百五人です。今回お忙しい中出席して頂いた人数は五十七名でした。遠路はるばる神奈川県や東京都、千葉県、愛知県、札幌、奥尻町から足を運んで下さった先輩方には大変感謝しております。残念ながら出席できない先輩・後輩からも、「次は必ず行きたい。」先生に会いたい。」など、とてもあたたかいお言葉を頂きました。祝賀会はとも賑やかに始まり、各テーブルからは先生も交えて笑い声が聞こえ、とても楽しい時間が過ぎていきました。私は昭和六十三年卒なので卒業し

から十八年になります。久しぶりに会う先輩の懐かしい顔を見た瞬間、涙が溢れました。当時はとても厳しくこわかった先輩、今ではすごくいい思い出です。でも気が付くと愛想笑いをする自分がいきました。笑
また、二年后開催予定です。今度ももっとたくさん先輩・後輩の方に参加して頂けるよう頑張りたいと思っております。



▲祝賀会風景

当番幹事を終えて

佐々木 三枝子

S 38年卒業(旧姓 斉藤)

平成十八年度の同窓会は、七月一日、花びしホテルで開催されました。

三十八年卒と五十四年卒が当番幹事となり、親睦会の進行を致しました。三十八年卒が四名、五十四年卒が一名の五名。全員初めての当番幹事でしたが、後輩の高垣さんが若いパワーで進行して下さったので心強いかかりでした。同期の皆さんにも色々と力になって頂き感謝致しております。

この度の当番幹事では先輩と後輩が目的に向かって心を一つにして協力し合い、そして役割を果たす事が出来たと言う充実感、心に残る経験をさせて頂きました。諸先生方とゆっくりお話し出来なかつた事が心残りですが、来年度にお会い出来る事を楽しみにしております。

最後になりましたがゲームその他にご協力いただいた皆様本当にありがとうございました。



高垣 美代

S 54年卒業(旧姓 星野)

去る七月一日、花びしホテルに於いて、平成十八年度大妻高校同窓会総会・親睦会が開催されました。今年度は、三十八年卒と五十四年卒が当番幹事という大役を任かされる事になりました。

二月頃に同窓会役員の方からお電話を頂き、「卒業以来一度も学校と接点をもたない私が何故？」と思いつながら待ち合せ場所へと向かいました。その時、「やっぱり場違いな所へ来ちゃったな」というのが正直な感想でした。それでも何度が打ち合わせを重ねるたびに、女性の本領発揮となり、何度か話が脱線しながらも楽しく準備を進めることが出来ました。当日、私は司会を担当させて頂きましたが、その他の事は全て先輩方が率先してこなして下さいました。

今、その日を思い出し、勤労奉仕の気持ちは何年たっても変わらぬ事を実感いたしました。

最後になりましたが、北原同窓会長はじめ、ご協力下さいました役員の皆様にお礼申し上げます。ありがとうございました。



当番幹事さん打ち合わせ風景



親睦会風景



平成18年度大妻高等学校同窓会総会・親睦会(平成18年7月1日 於:花びしホテル)



同窓生を訪ねて



油川 トクさん

S23年卒業旧姓内田

長く教壇に立たれていらしたので、「油川先生」とお呼びしたほうが耳になじんでいる方もたくさんいらつしやるのではないでしょう。函館の和装の世界をずっと引つ張ってこられた第一人者です。着物や着付け、帯造りなど、数多くの著書もありになる油川先生は、毎年市民会館で盛大に催される成人式での晴れ着の着付けボランティアに取り組まれています。

「朝早くから装ってこくる成人の方達の負担が少しでも軽くなるように」との思いから、最初は会場近くのホテルの和室を借りてのスタートだったそうです。現在は場所を市民会館の和室に移し、着付け教室の教え子の皆さんと共に二十名以上の成人の方達に無料で着付けをし、式典の途中で着くずれした方も直してあげているそうです。ひもなどの小物を忘れた方には、「戻ってこない事を覚悟で貸し出してしまいます。」と笑って話されています。

「この着つけのボランティアを始

めて、来年で三十五周年になります。これからも体力が続く限りがんばりますよ。」と、力強くおっしゃって下さいました。



函館新聞社撮影 (着付風景)

能川 博子さん

S40年卒業旧姓坂本

能川さんは、現在「MPO法人地域活動支援センター」「翔栄」協力会の一員として活動されています。

「翔栄」作業所には、知的障がいや精神障がいを持った十八歳以上の人が二十三名程通っているそうです。作業所の運営資金を捻出するために、母校大妻高校で身につけた技術を活かして、お金をかけずにアイデアに富んだ作品を創り出し、店舗を借りて販売しています。

能川さんのボランティア歴は大変長く、母校在学中に他校の生徒と共にボランティア活動に参加したのをきっかけに、「地域の人達のために役立つたい」と母校にも「愛護部」を設立したそうです。その思いは現在の部活動にも立派に受け継がれているように思います。

活動を通じて知り合ったご主人と結婚、子育ての間もできる範囲でボランティア活動

を続けていきましたが、「私達のボランティアもして!!」とお子さんに言われたこともあったそうです。「同じ考えを持つ人達と自分達が楽しみながら誰かの役に立って

いけたらと思っと思っています。」
取材の最後にとてもやわらかな笑顔でこう語って下さいました。



(作品展にて)



お二人の益々のご活躍を祈念し同窓生の一人として心より応援させていただきます。

トピックス

華

北海道産業界教育フェア 家庭科デザインコンクール制作



華やかに歩く モデルの生徒

十月二十八、二十九日の二日間にわたり、札幌コンベンションセンターで「北海道産業界教育フェア」が開催され、本校も去年に引き続き参加、家政科三年の生徒が中心となり組んだ。夏休みから始まった作業では、「華」という今回のテーマに合わせて、白いロングドレスに黒のレースをあしらったもの、そして和をイメージした赤い羽織と帯を巻いた二着が用意された。

制作にあたった生徒たちは「体のラインがきれいに、そして女性らしさが出るように心がけた」と話しており、その成果は同フェアの中で行われたファッションショーで遺憾なく発揮され、見る人たちの関心を集めていた。

演劇部 最優秀賞→全道大会へ!



同窓生の方々に作って頂いた防空頭巾をかぶつての熱演

「練習していく中で、様々なことを学んだ」と部員たちも手応えを感じた様子であった。

第五十六回北海道高文連道南支部演劇発表大会が、十月八、九の両日、函館市芸術ホールで開催され、本校の演劇部は「命」をテーマにしたオリジナル脚本「ゆりかご」を演じ、見事、最優秀賞を獲得、九年ぶりの全道大会への出場となった。

「ゆりかご」の1コマ



服装デザインコンクール全道2位!!



渡辺さんデザイン画

全道の高校生を対象にして開催された「第十五回BUNKA高校生ファッションデザイン画コンクール」で、家政科三年の渡辺静夏さんが最高位に次ぐ優秀賞を受賞した。「驚いたけれど、とても嬉しかった」と本人も思わぬ朗報に喜んでいいる。

同コンクールには「誰よりも早く着たい服、着せたい服」というテーマに合わせ、全道各地から八百九十九点の応募があった。渡辺さんは動きのあるデザインにするためスカートの形や色など細部にまでこだわり、また、多くの参加者が色鉛筆で彩色する中で水彩絵の具を用いるなどの工夫を凝らした。将来は専門学校に進学しデザインを学びたいとの目標を持っており、「私のデザインした服を着ることで、少しでも楽しい気持ちになってもらえたら」と、渡辺さんの夢はますます広がる。担任の工藤真知子先生も、進学しても自分の長所を生かして、ぜひがんばって欲しい」とエールを送っていた。

ご案内

平成19年度 同窓会総会・親睦会のご案内

日 時 平成19年7月7日(第1土曜日)
 総 会 PM 5:00
 親睦会 PM 6:00
 会 場 花びしホテル ☎57-0131 (函館市湯川町1-16・18)
 会 費 5,500円(温泉にご入浴もできます)
 申 込 平成19年6月20日までに同封の(青色)派込用紙でお申込みください。
 ◆ 宿泊申し込みは、同窓会副会長 金子(TEL(0138)41-6512)まで
 6月25日以降の取消は会費をお返しできませんのでご了承下さい。

申し込み連絡先

同窓会事務局
 宮本和子(教諭)
 〒040 0002
 函館市柳町14番23号
 電話(0138)52 1890
 FAX(0138)52 1892
 大妻高校内
 当番幹事S33年卒業生

本部だより

—各事業部活動状況—

名簿係

金子・T藤島
 随時名簿を整理しております。
 結婚、転勤、転居等により名前住所が変わられた時は、本部まで連絡をお願いします。

会報係

平田・T森
 同期会の開催、同期会の活躍、近況等の原稿を募集しております。退任された先生方のご近況等もお知らせ下さい。

福利厚生係

池田・本間(中)
 大妻祭同窓会コーナー「べこ餅・いなり販売」が定番となり好評です。今年もどうぞ宜しく。

会計係

金山・T野村
 年会費は「いとぐるま」の郵送代や各支部助成金等に充てられます。多くの方々のご協力をお願い致します

総会係

阿部・T宮本
 今年は三十三年卒業の当番となっております。

支部係

T西本
 各支部の皆様、お元気でお過ごしのことと思います。毎年、支部会が各地で開催されていますので、お誘い合せの上是非ご参加下さい。

平成十八年度卒業

【同窓会幹事】

家 政 科	定 森 一 美
福 祉 科	持 田 朋 子
生活情報科	佐 々 木 綾 子
普通科一組	中 田 美 香
普通科二組	佐 々 木 和 音

【連絡先 函館大妻高等学校】

〒040-0002 函館市柳町十四番二十三号
 TEL 01338 521 1890
 FAX 01338 521 1892
 同窓会事務局 宮 本 和 子

▼新入会員あいさつ▲

三年間の高校生活は瞬間に過ぎていった感じがしています。大妻祭やスポーツ大会、修学旅行などのたくさん行事を通じて友情がより一層深まった仲間との別れは寂しいことですが、生涯忘れられない大切な思い出となりました。また、この三年間で、恥を知れ」という校訓を心で感じ、身につけることができ、これからはそれぞれの道でこの教えを生かしていきたいと思っております。この度、新会員として先輩方の仲間入りすることとなり、まだまだ未熟な私たちですが、少しでもお役に立てるよう精一杯努力していく所存です。ご指導の程宜しくお願い致します。(常任幹事 持田朋子)

「年会費」のお願い

本年度もご協力、ご送金よろしく
お願い致します。

◆◆◆ 年会費集計状況 ◆◆◆

皆様のご協力ありがとうございます

平成18年度
497,300円

(平成18年12月31日現在)

編集後記

三月に入り肌寒い日が続いておりましたが、会員の皆様いかがお過ごしでしょうか。
 「いとぐるま」第三十一号をお届けいたします。これからも皆様に親しまれる誌面作りを心がけていきたいと思っております。
 読後の感想や身近な話題などお寄せ頂けたら幸いです。
 お忙しい中、ご寄稿下さいました皆様にご心よりお礼申し上げます。ありがとうございます。

(平田 記)

編集委員

北原幸子 金子梨枝 池田靖子
 平田優子 森 雪恵 阿部幸子